



よーいドン！でも熱い…



特製あつまるくんランタンで点灯式

第17回 スターフェスタ

冬の花火大会・干支文字焼き

&

第16回 ランタン祭り

夢と希望の灯り2016光のページェント

① 甘酒で冷えた体を温めました／② 子どもたちに大人気のお菓子のつかみどり／③ 学校や企業による思考を凝らしたランタン造形／④ 寒空の下でジンギスカンを味わう「ランタン焼き」／⑤ 色鮮やかなイラストが描かれた行燈は町内の小学生の作品



⑤



②



①



④



③



次はぼくの番！大人気の滑り台



こっちにも投げて！餅まき大会



スターフェスタ2016 in あつま（第17回冬の花火大会・『申』の干支文字焼き）と、夢と希望の灯り2016光のページェント（第16回ランタン祭り）が2月6日、こぶしの湯あつま周辺で行われ、町内外から大勢の人が訪れ、イベントを楽しんでいました。

会場では、氷のランタンや夜空を色鮮やかに染める打ち上げ花火などが冬の夜を彩り多くの来場者を魅了。また、お菓子のつかみ取りやラーメン早食い競争、年男・年女、厄年の方による餅まき、ジャンケン大会などのさまざまな催しが行われ、にぎわいをみせていました。

スターフェスタは商工会青年部（寺坂康生部長）主催で、約2,000発の打ち上げ花火と、こぶしの湯から見える雪原に、今年の干支である『申』の文字焼きが華やかに共演。また、ランタン祭りは実行委員会（金本圭二実行委員長）主催で、会場周辺には企業や団体、学校、個人の協力によって作製された約5,000個を超える氷のランタンが飾られ、暖かで幻想的な世界を作り上げていました。

雪上から打ち上げられる花火と「申」の干支文字焼き